

産学連携授業でロボ操作

ものづくりの面白さ体感

自分で作ったプログラムで産業用ロボットを動かす生徒＝静岡市清水区の三明機工



産業用ロボットシステムなどを開発、製造の三明機工（静岡市清水区）と県立科学技術高が展開している産学連携授業が20日、同社で行われた。同校制御工学科の3年生7人が手作りのコンピュータプログラムを使って、学校にはない実物の工作機械を動かす実験を楽しんだ。自動車製造工場で使われているアーム

清水区の 科学技術高生実験 三明機工

付きの産業用ロボットで、「物体をつかんで運ぶ」という一連の動作を試した。操作機を手にした生徒は、アームがプログラム通りに上下左右に動き出すと、笑顔を見せた。机上では体験できない授業内容に生徒たちは一様に満足げな表情。実験後、三浦純平君は「パソコン上で行うシミュレーションとは違い、実機を動かせるのはやはり迫力がある」と話した。